



2020年2月4日  
東日本旅客鉄道株式会社

## 痴漢防止対策に関する実証実験の実施について

- JR東日本では、事業を通じて社会的な課題の解決に取り組むため ESG 経営を実践しています。
- 社会的な課題の一つである痴漢問題の解決に向けて、国立情報学研究所の新井紀子教授をはじめ、有識者の方々から有益なご意見をいただきながら、お客さまが列車内で痴漢行為を受けた際に、スマートフォンの専用アプリにより車掌へ通報するシステムの検討を進めてきました。
- このたび、このシステムの効果等を検証するため、列車内で実証実験を行います。
- 海外から来られるお客さまも含めて、より安全で安心な鉄道を目指してまいりますので、お客さまのご理解・ご協力をお願いします。

### 1 システムの仕組み

スマートフォンに専用アプリをインストールしたお客さまが、列車内で痴漢行為を受けた際、アプリのボタンを押すことで車掌に通報することができます。車掌は、携帯するタブレット端末内の専用アプリの通知内容に基づき、注意喚起の車内放送を行います。

【イメージ図】



### 2 システム開発の目的

- 列車内で痴漢行為を受けたお客さまから車掌への通報を可能にし、車内放送で注意喚起を図る。
- 周囲のお客さまに痴漢行為に気づいてもらうことで、痴漢行為の抑制を図る。

### 3 実証実験の期間・場所等

	期間	時間帯	場所
第1ステップ	2月下旬～3月中旬 ※土休日は除く	7:00 頃～10:00 頃	埼京線車内 (大宮駅～新宿駅)
第2ステップ	第1ステップの結果を踏まえて、6 月以降、埼京線車内で実施予定		

※ 詳細な期間・場所等は、関係する駅にポスター掲出する予定です。

### 4 実証実験の方法(別紙)

# (別紙) 痴漢防止対策に関する実証実験の方法

	第1ステップ	第2ステップ
目的・概要	<b>機能検証及び受容性確認(お客さまの反応)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>社員およびモニターが専用アプリのボタンを押す(通報タイミングは予め設定)</li> <li>車掌が車内放送(試験)にて注意喚起</li> <li>お客さまアンケートによる調査</li> </ul>	<b>専用アプリ(車内放送)の痴漢防止効果の確認</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>モニターが専用アプリのボタンを押す(痴漢行為を受けたと認識した時)</li> <li>車掌が車内放送にて注意喚起および駅員と連携</li> <li>モニターアンケートによる調査</li> </ul>
日時・場所	<b>2020年2月下旬～3月中旬 7:00～10:00</b> <b>埼京線車内 大宮駅～新宿駅間(上下)</b> ※ 土休日は除く	<b>第1ステップの結果を踏まえて、</b> <b>2020年6月以降、埼京線車内で実施予定</b>
イメージ		

## 第1ステップ 放送内容

※試験である旨を放送

パターン1：一般的なマナー放送 例)「痴漢を見かけた方はお知らせください」

パターン2：迷惑行為があったことを伝える放送 例)「車内のお客さまより迷惑行為の連絡がありました」

パターン3：○号車から痴漢通報があったことを伝える放送 例)「○号車のお客さまより、痴漢の通報がありました」